

明日の働きかたを考える

我々はITで
明日のビジネスにある
当たり前をつくる



会社概要

商号	株式会社 KDDI ウェブコミュニケーションズ
設立	1987年 2月 25日 ホスティング事業創業 1997年8月
資本金	6,500万円
所在地	東京本社 東京都港区南青山2-26-1
事業内容	クラウドホスティング事業 ウェブサービス事業 プラットフォーム事業
種別	電気通信事業者 (A-09-2616)
加盟団体	JPNIC 正会員、JPRS 指定事業者
従業員数	175名 (2017年8月末時点 派遣、契約社員を含む)
平均年齢	37.7歳 (2017年4月末時点 正社員及び契約社員)



レンタルサーバー
CPI

官公庁や教育機関などの大規模なサイトから、企業サイト、ネットショップなど、様々なビジネスのニーズに応えるホスティングサービスです。



ビジュアルブログ
g.o.a.t

画像や動画などのビジュアルと文章の融合をより高めた新しい表現ができるブログサービスです。ビジュアルを最大限に活かし自在に表現するための機能を搭載しています。



オリジナルギフト
キッズコレッチオ

子どもの描く絵を世界でひとつのオリジナルギフトにしてお届けするサービスです。お子さまがはじめて描いた絵や会心の傑作をギフトアイテムにデザインします。



無料ホームページ作成
Jimdo

今までホームページ作成に必要だった専門知識は必要なく、クリック&タイプで簡単に素早く、ハイクオリティなホームページを作ることができます。



クラウド電話API
Twilio

電話、チャット、ビデオなど様々なコミュニケーション手段を簡単に開発するためのAPIを提供しています。



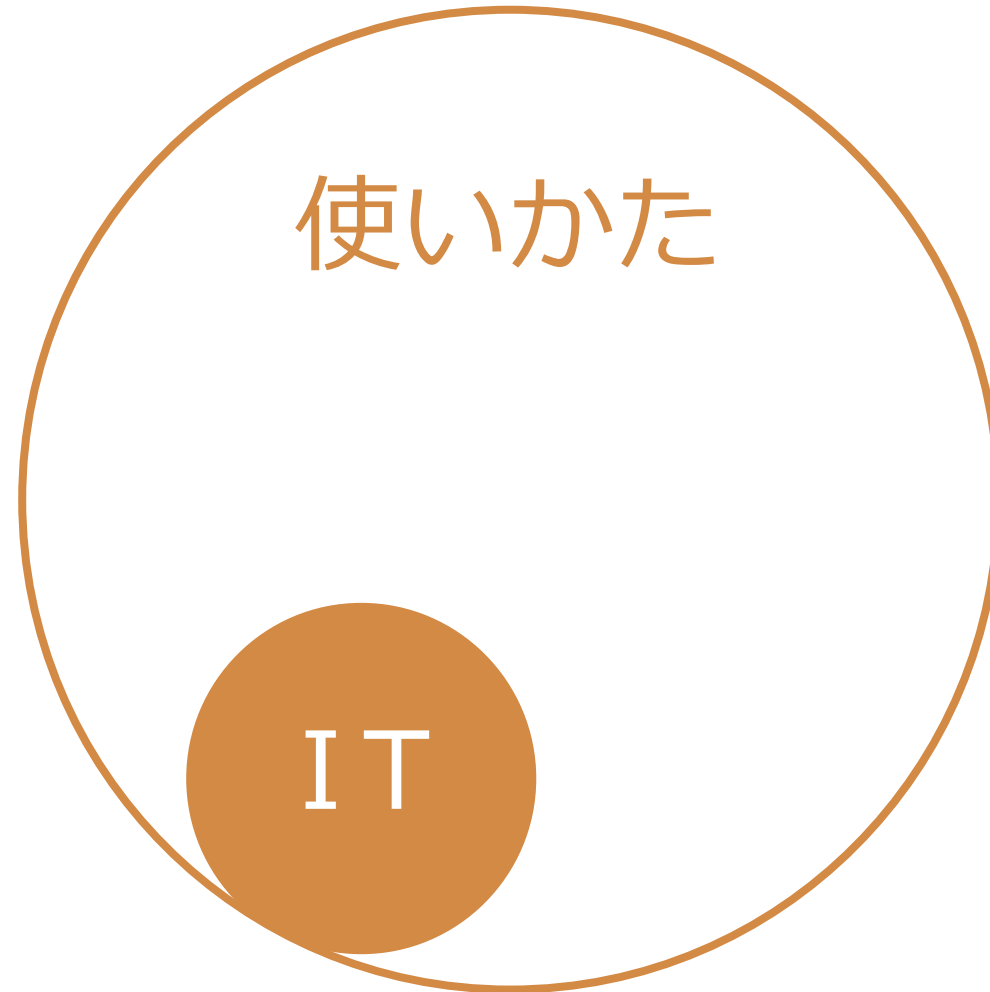
クラウドデザイン作成
Canva

専門スキルが必要とされていたポスターや名刺などのデザインを、誰でも簡単にできるサービスです。あらゆる身の回りのデザインをクリック&タイプだけで作成できます。

働きかたとITの関係



地方創生とITの関係



働きかた改革と地方創生

働き方改革



働きかたの選択

地方創生



地域との関わり

改革ではなく選択

個別の状況への適応

いま以上に将来への投資

チェックポイント

持続可能性は高いか

ニーズは必ず変化する

取り組みへの思い

課題を解決するのは当事者
企業は材料(環境)を提供する



KDDIウェブコミュニケーションズ の働きかた



どこでも働ける

両立

会社に来たくなる

経営の目標

「どこでも働ける」



もっともパフォーマンスがあがる
働きかたを【選択】する



「会社に来たくなる」

この会社でやりたい仕事があるなら
働き続けることができる



自分の価値、キャリアは
自分で【選択】する

会社が用意するのは環境

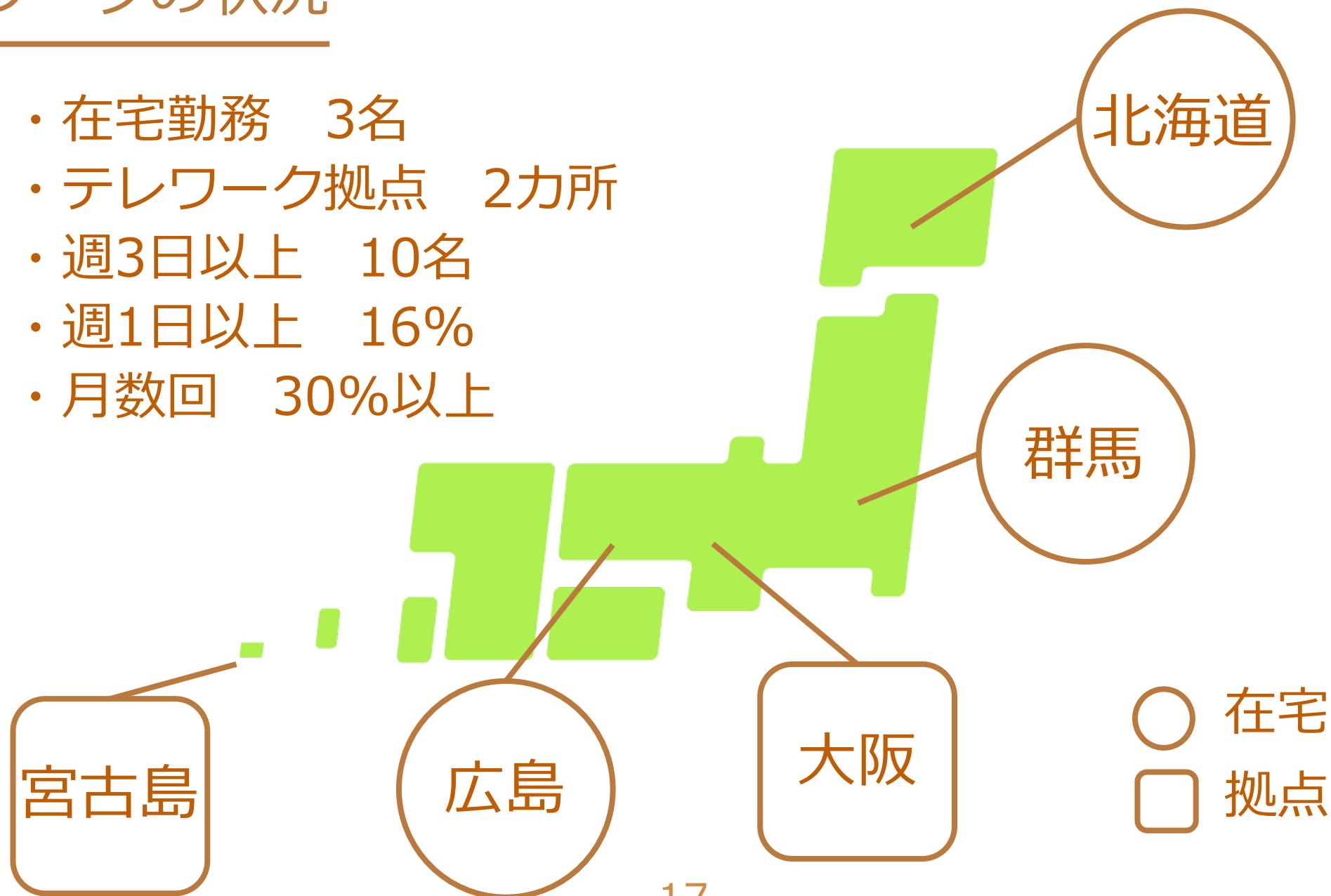
それを活かすのは社員

どこでも働ける

- 在宅勤務OK
- フレックス
- フルフレックス
- 時差出勤
(9,10,11,12時)
- テレワーク
- 人にあわせて拠点を
つくる

テレワークの状況

- ・在宅勤務 3名
- ・テレワーク拠点 2カ所
- ・週3日以上 10名
- ・週1日以上 16%
- ・月数回 30%以上



会社に来たくなる

- ・ 協働のしやすさ
- ・ 会話と集中
- ・ お菓子、ランチ

共有スペース50%

集中個室

予約の出来ない会議室

マッサージ・鍼灸

朝ヨガ・夜ヨガ



オフィスの風景



共有スペース





仕事中？

働き続ける

- **時短、スーパー時短**
年齢性別問わず
育児・介護・留学など
理由があればOK
週15時間～
※育休なども普通にあります
- **副業OK**
推奨も反対もしません

手段と権利

制度は権利ではなく手段
権利にならない工夫

信 頼

成果主義のベースは信頼
どの制度を活用するかは
部署ごとに相談

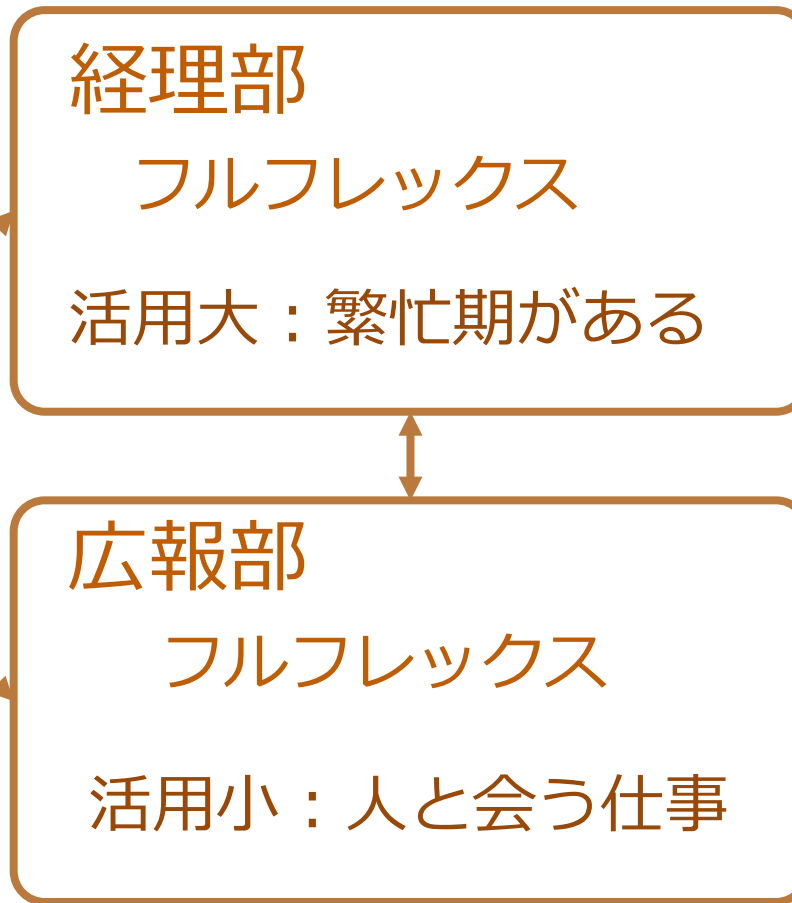
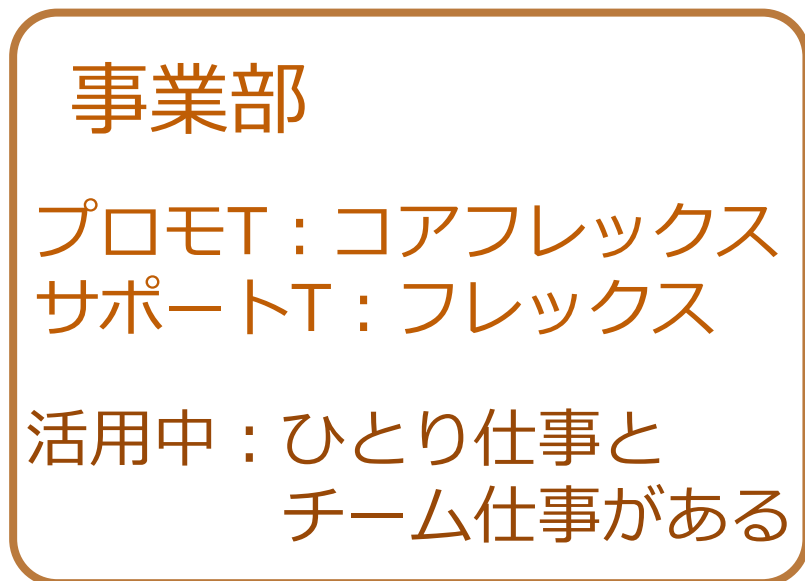
平 等

一律、一斉は平等ではない
その時の事情において平等

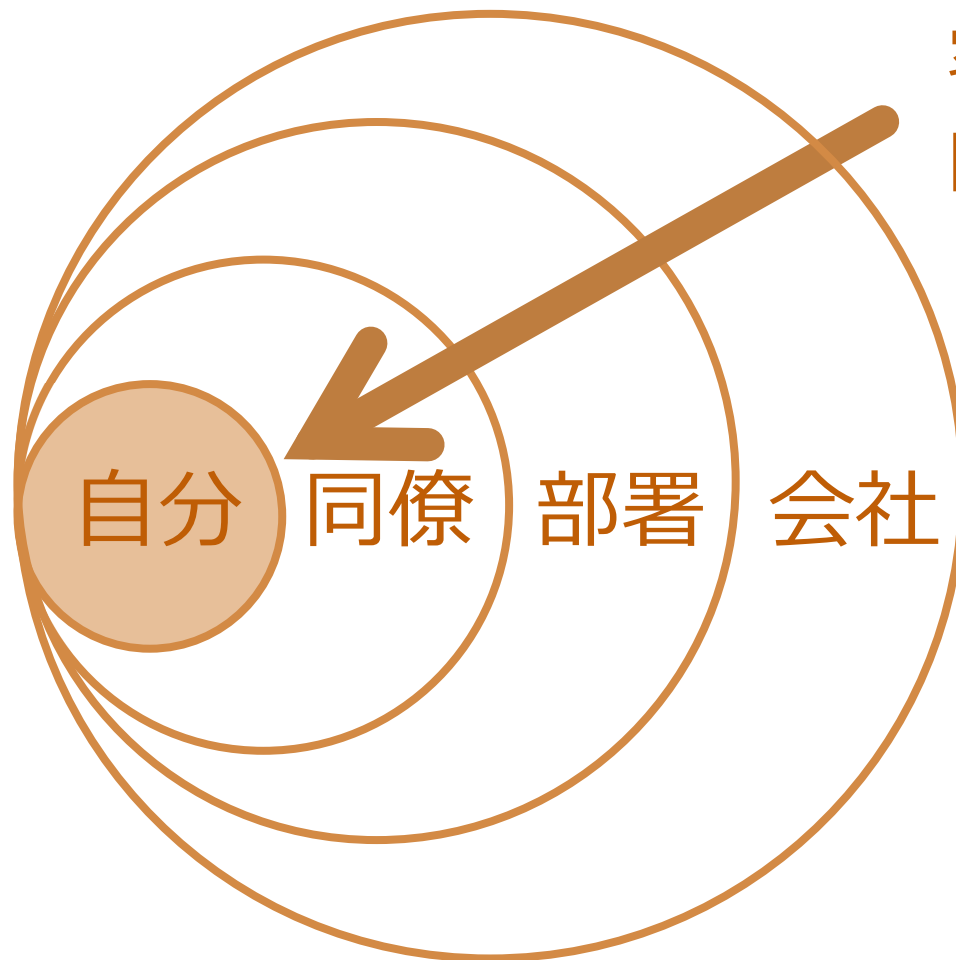
考えかた

信頼が保たれなくなったら制度は廃止
個人ではなく周囲との関係で成果を考える

例)



周囲との関係を気にするのではなくみんなで考える



客観的に周囲から自分に向かって目を向ける

- 中間管理職が監視に向いたら成立しない
- 立場ではなく関係にフォーカスする

これからの働きかた



ライフイベントのたびに起こる
キャリアリセットの可能性を排除する

これからの働きかた

- 仕事も働きかたも常に変化する
- ひとりひとりが自分で選択する
- ライフスタイルではなく
ライフサイクルへの対応



地域との関わり



なぜ地域と関わりをつくるのか



会社と地域の課題に共通項がある



地域人材との交流と人財の確保



中小企業の声聞くチャンス

我々の市場理解

中小企業の課題

1. 売上の伸び悩み
2. 人材不足
3. 設備老朽化

成長企業の取組み

1. IT投資
2. 海外需要の獲得
3. リスクマネジメント

課題のキーワード



IT活用



人材



販路拡大

沖縄県の課題と将来

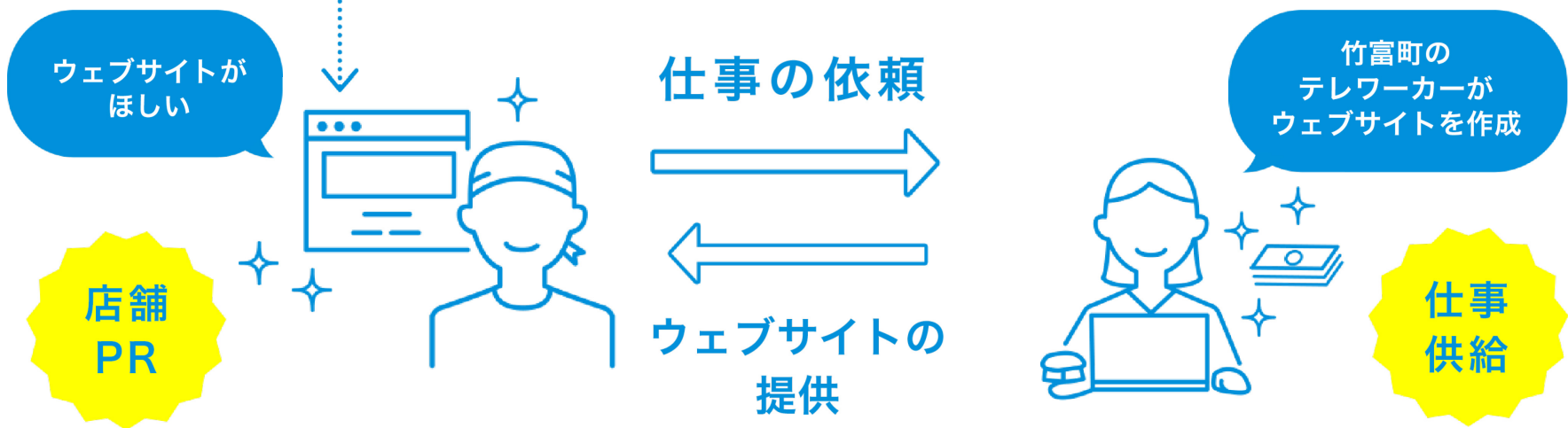
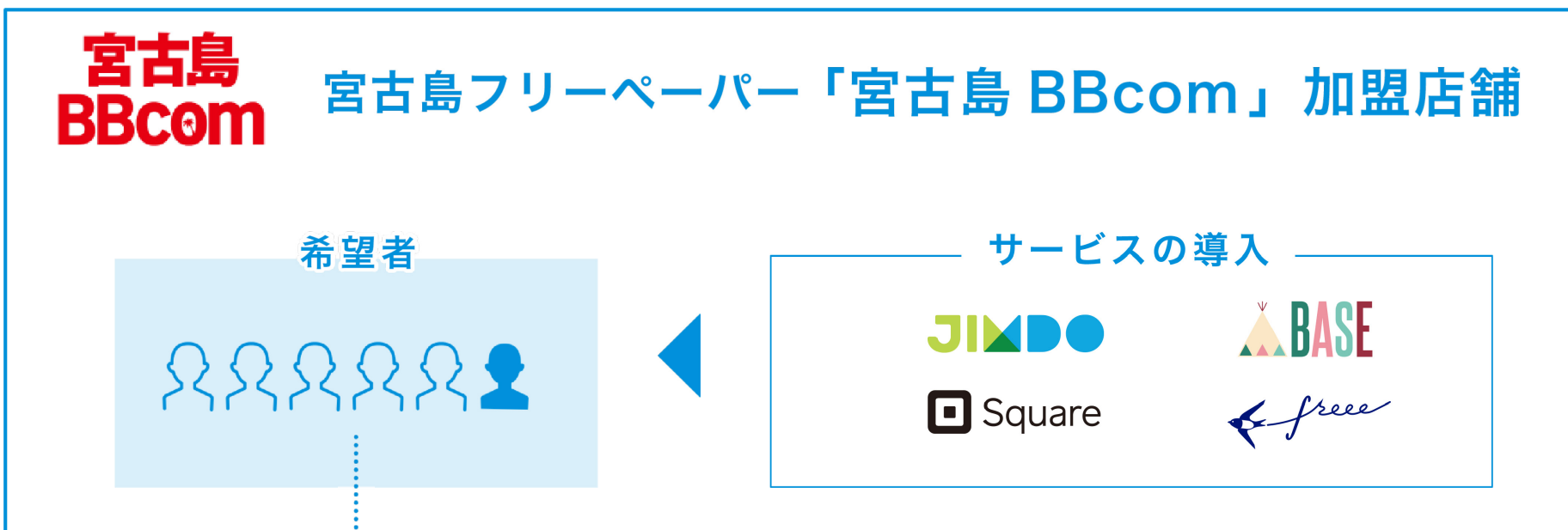
1. 増加する入域観光客への対応（861万人）
2. 県民所得の向上
3. 中小事業者、店舗のIT化

出典：2017年1月 沖縄県アジア経済戦略構想

地方創生の連携協定

4市町村 + 9 企業







総務省

「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業



Life is Tech!®



宮古島市
教育委員会



地元の
企業リチャージ

将来 IT が島の重要産業として発展するように人材育成の支援

宮古島の事例

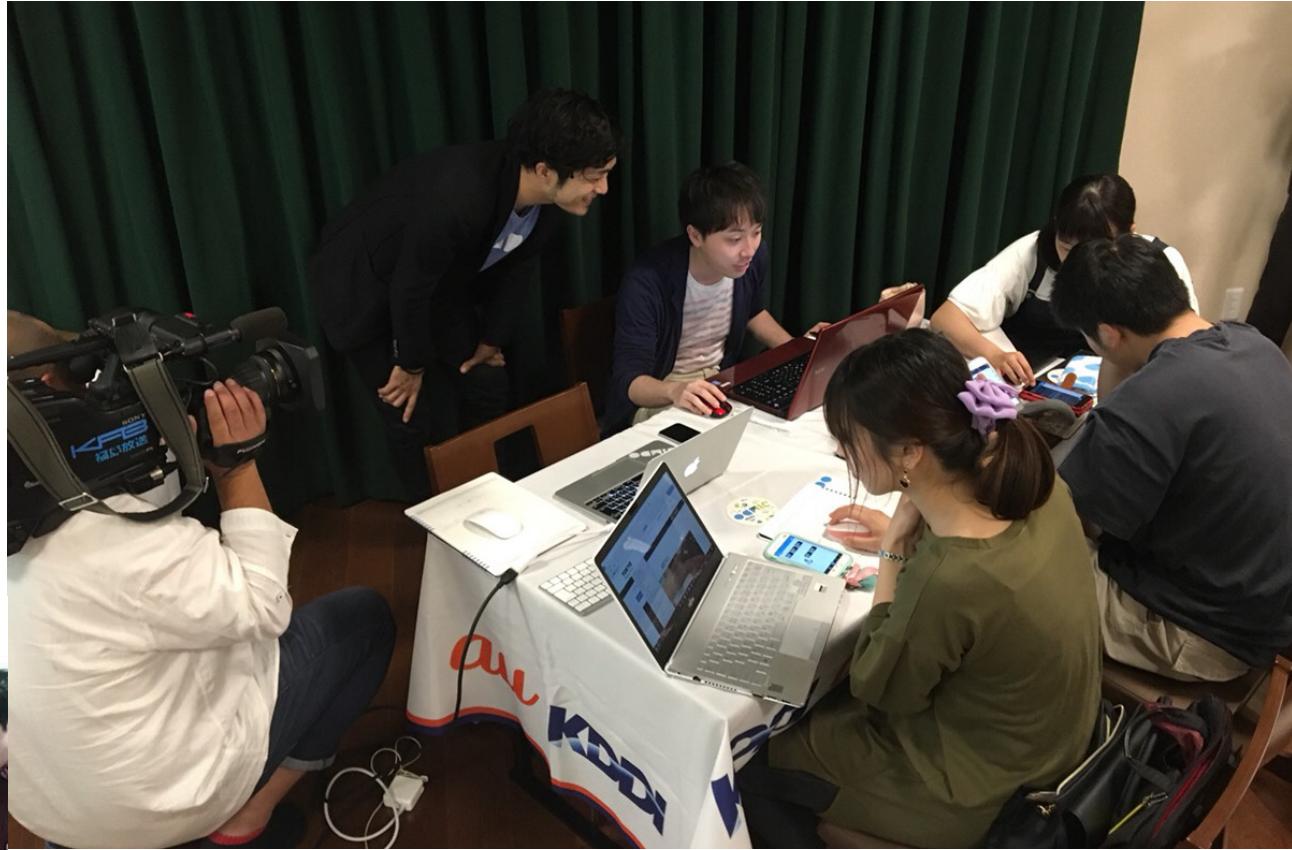
宮古島市職員名刺 デザインコンテスト



宮古島市の4つの高校が
市職員の名刺デザインを作成

福島県国見町の事例

国見カスタムラボ



地元の若者による
地域連携企画

その他

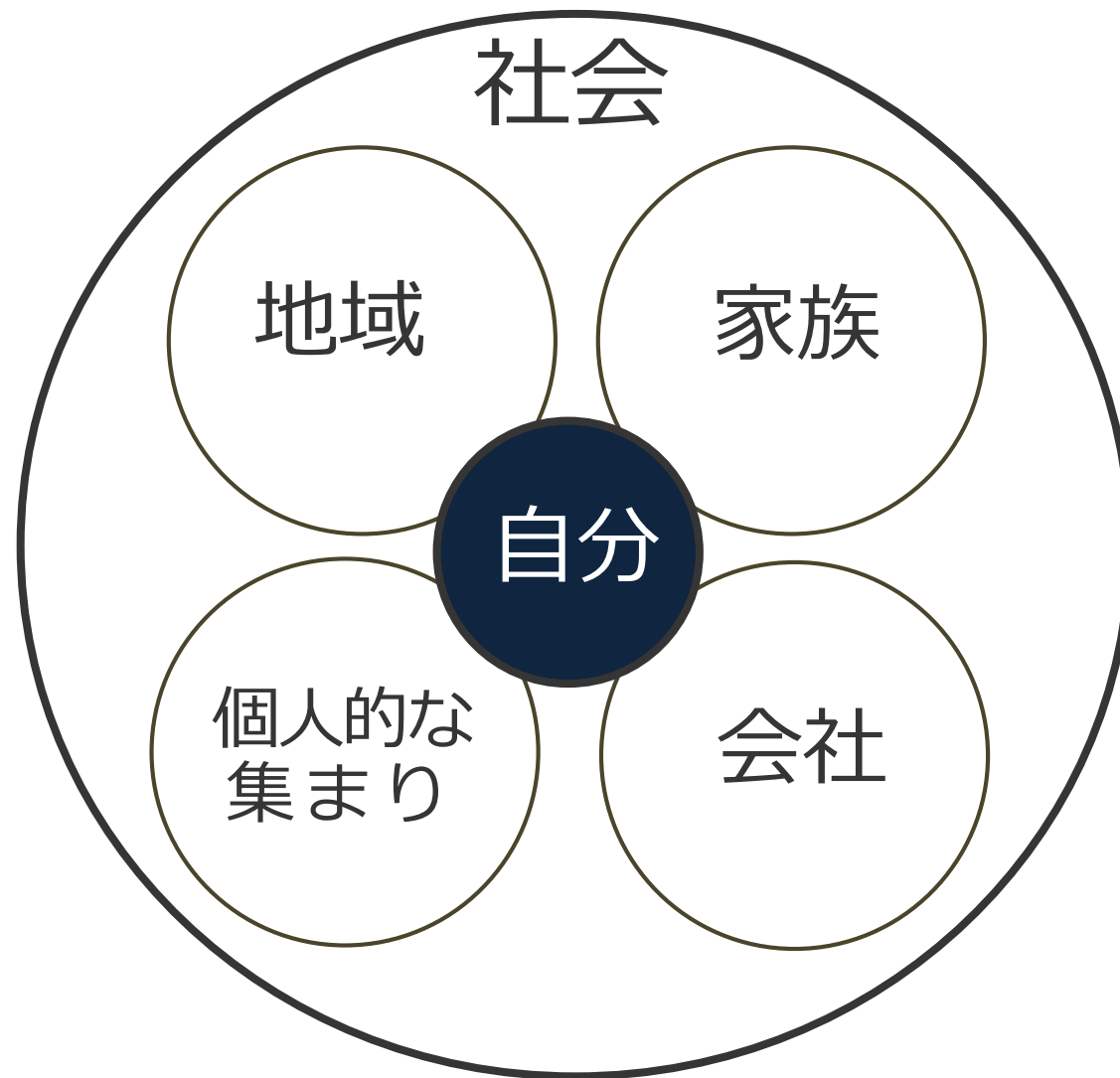
- パッションフルーツの直販支援
- 復興支援PJへの参加
- 大学等との授業連携トライアル
- 女性向けITセミナー

など

地域との連携

- 知れば変われる人たちが大勢いる
- 提供者は伝える努力がたりない
- 簡単、便利は機能のことではない

働きかたの答えは関係の中にある



より社会に向かって
仕事を生きかたに近づける

